

平成27年度 事務事業マネジメントシート

事業名	流山おおたかの森駅周辺バリアフリー仕様整備事業			会計	款	項目	大	小
政策	01	1節	整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山(都市基盤の整備)	主管課	まちづくり推進課			
施策	4-6	バリアフリーのまちづくり		主管課長	石野 升吾			

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	流山おおたかの森駅及び周辺施設利用者	意図	公共交通機関を利用した移動にあたり、支障となるバリアを取除き、高齢者・身体障害者等の移動を円滑化し、利便性・安全性の向上を図る。
事業内容	新市街地地区において土地区画整理事業者の協力を得て、駅周辺道路の段差のない道路整備や視覚障害者のための誘導ブロックの敷設などを行う。			
事業開始から現在までの状況変化	事業の進捗と共に道路整備が進み幅広い歩道整備や誘導ブロックの設置が行われている			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	目標方向	算定式(成果指標の場合)
		センター地区の整備率	60	61	69	%	↑↑↑
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状(客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況) ・4箇所の各出口にエレベーター、エスカレーターが設置され、安全で便利な施設となっている。 ・駅南口、東口の整備については概ね完了しているが、西口については、整備が遅れており、事業の促進が望まれている。
事務事業のコスト		平成25年度	平成26年度	平成27年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)							
事業費(b)(円)							
うち一般財源							
職員給与費(c)(円)							
人役・職員(人)							
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)(建設又は取得年度のみ記入)							
想定耐用年数(年)(建設又は取得年度のみ記入)							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	継続 (事業を現状どおり継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

今年度(H27)の改善計画	西口の早期完成を目指し、引続き施行者との連携を強化し、地権者へ協力を求めて行く。
今年度(H27)に実施した取組	駅西口について、移転対象となる権利者との交渉を施行者と行った。

取組の課題	移転の遅れから西口や北口の完成が遅れている。
今後の改善計画	H28年度整備完了に向け、着手可能な区域より整備を進める。